

平成31(2019)年度「とちぎっ子学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立 陽西中学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには、学校の状況や生徒の実態を保護者や地域の方々に十分御理解いただく必要があります。その上で、家庭や地域と一体となって生徒を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから、平成31(2019)年度「とちぎっ子学習状況調査」における本校生徒の学力や学習状況の概要について、以下のとおり公表します。

また、調査結果は、学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので、調査結果の分析、指導の改善策などを併せて掲載します。

【調査の概要】

1 目的

本県児童生徒の学力や学習の状況等を把握・分析し、児童生徒一人一人の課題を明確にするとともに、各学校が組織的に学習指導における検証改善サイクルの構築・運用に取り組むことにより、本県児童生徒の学力向上に資する。

2 調査期日

平成31(2019)年4月18日(木)

3 調査対象

小学校 第4学年、第5学年(国語、算数、理科、質問紙)

中学校 第2学年(国語、社会、数学、理科、英語、質問紙)

4 本校の実施状況

第2学年	国語	194人	社会	194人	数学	193人
	理科	193人	英語	194人		

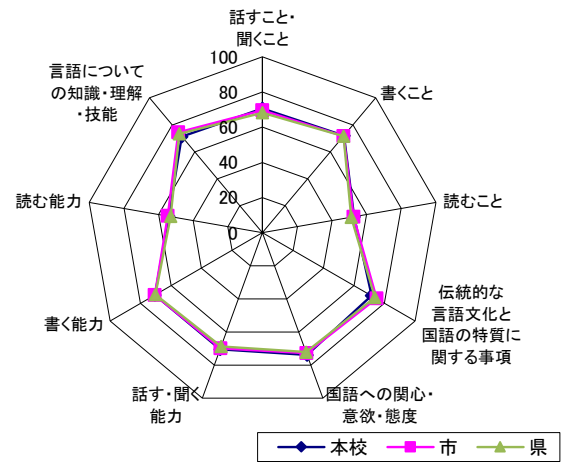
5 留意事項

- (1) 本調査は、対象となる学年、実施教科が限られていることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であることに留意することが必要となる。
- (2) 本校の傾向等を分かりやすく示すために分類・区分別の平均正答率などを公表した。
- (3) 平均正答率の数値は調査結果のすべてを表すものではないため、「本年度の状況」、「今後の指導の重点」などの分析を併せて記載した。

宇都宮市立陽西中学校 第2学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	70.6	69.6	68.2
	書くこと	72.0	71.7	71.5
	読むこと	52.8	52.6	51.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	71.5	74.8	73.7
観点	国語への関心・意欲・態度	73.9	72.8	72.1
	話す・聞く能力	70.3	69.9	68.7
	書く能力	70.6	70.7	70.3
	読む能力	54.2	54.7	53.1
	言語についての知識・理解・技能	71.4	74.5	73.5



★指導の工夫と改善

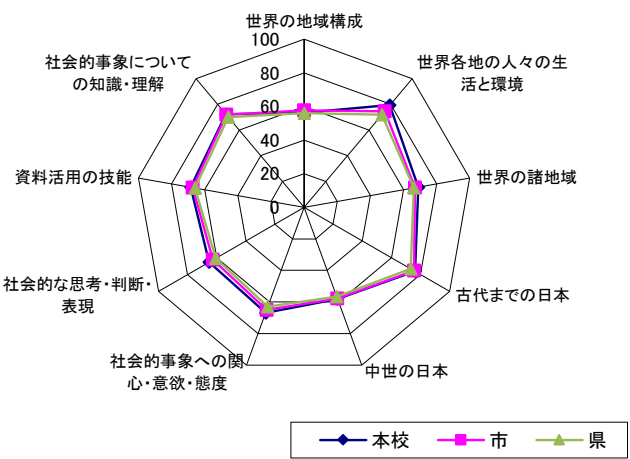
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	平均正答率は、市の平均と比べてやや高くなっている。 ○話し方の工夫を捉える問いの正答率が高い。話合いの授業において、相手に分かりやすく印象的に話す技能について学習した成果であると考えられる。 ●話合いの話題の方向を捉える問いの正答率がやや低く、課題がある。	・今後も、声の大きさや速さなどの話す技能の向上に努めるとともに、構成や表現を工夫して分かりやすく伝えたり、印象的に伝えたりする技能を高める指導を積極的に行う。 ・話題を捉えるために、話し手の意見やそれを支える根拠を整理しながら聞く学習活動を充実させる。
書くこと	平均正答率は、市の平均と比べてほぼ同じである。 ○内容を明確にして書く力をみる問いの正答率が高い。伝えたい相手や目的を考えて書く学習活動の成果である。 ●書く材料の分類や整理に関する問いの正答率が低く、課題がある。	・今後も、自分の立場や根拠をはっきりさせながら書く学習機会を多く設け、内容を明確にして書く力を身につけさせる。 ・KJ法やマッピングなどの発想を広げたりまとめたりする方法を活用しながら、書く材料を関連付けたり、選択したり、吟味したりする力を身につけさせる。
読むこと	平均正答率は、市の平均と比べてほぼ同じである。 ○文章の展開を捉えて内容を整理する問いの正答率が高い。文章の叙述をもとに、文章の展開を分析する学習活動の成果である。 ●登場人物の心情を捉える問いの正答率が低く、課題がある。	・今後も、接続語や情景描写、時を表す言葉等に注目させながら、文章の展開を的確に捉える学習活動を充実させる。 ・心情を直接表す言葉や、登場人物の発言、情景描写などに注目させ、登場人物の心情を的確に捉え表現する学習活動を行う。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	平均正答率は、市の平均と比べて約3ポイント低くなっている。 ○漢字の書き「拝む」の正答率が特に高い。定期的な漢字テストや授業でのきめ細かい漢字指導の成果である。 ●歴史的仮名遣いの読みを尋ねる問の正答率が特に低く、課題がある。	・今後も、日々の漢字テストや漢字指導を継続的に行い、漢字への習熟を深める。 ・古典の音読活動を充実させ、特に歴史的仮名遣いと現代仮名の違いについての理解を深める。

宇都宮市立陽西中学校 第2学年【社会】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	世界の地域構成	56.2	57.6	56.0
	世界各地の人々の生活と環境	79.4	74.6	71.9
	世界の諸地域	69.0	67.0	66.3
	古代までの日本	76.1	75.7	73.3
	中世の日本	58.0	57.9	56.7
観点	社会的事象への関心・意欲・態度	66.8	65.0	63.0
	社会的な思考・判断・表現	65.2	62.5	60.5
	資料活用の技能	68.5	67.2	65.9
	社会的事象についての知識・理解	72.1	71.8	70.1



★指導の工夫と改善

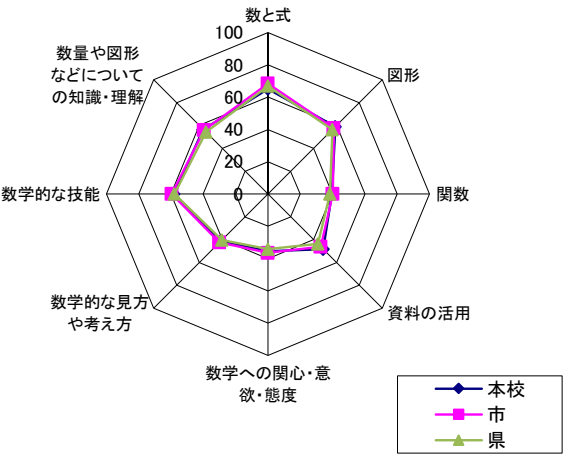
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
世界の地域構成	平均正答率は、市の平均と比べて1.4ポイント下回っている。 ○世界の地域区分の問題の正答率は、県の正答率を1.6ポイント上回った。 ●地図から必要な情報を読み取る問題の正答率が低く、資料活用	・地図中の緯度と経度の読み取りや、地図の特色を読み取る問題など、知識をもとに資料と結びつける問題に課題が見られる。そのため、地図帳や資料集を利用し、視覚的に理解が深められるようにする。
世界各地の人々の生活と環境	平均正答率は、市の平均と比べて4.8ポイント上回っており、おおむね良好である。 ○世界の宗教分布の理解をもとに生活の様子を考える問題や、雨温図を読み取る問題の正答率が高い。 ●世界各地の生活の様子について自然環境と関連づけて考える問題の正答率が低い。	・ビデオ教材や地図、資料など視覚教材を効果的に取り入れた授業は一定の成果を上げているので、今後も継続していきたい。 ・資料の読み取りについては、地図帳や資料集を活用して自然環境との因果関係を考えさせるなど、思考力の育成を図る。
世界の諸地域	平均正答率は、市の平均と比べて2.0ポイント上回っており、おおむね良好である。 ○ヨーロッパ州の農業の特色について、複数の資料をもとに考察する問題の正答率は、県の平均を6.9ポイント上回った。 ●西アジア・中央アジアの産業について、資料をもとに判断する問題の正答率が低い。	・複数の資料を比較し、情報を読み取る活動を授業の中で意識的に取り入れたことは、一定の成果が見られた。 ・知識をもとに資料と結びつける問題に課題が見られる。そのため、地図帳や資料集を利用し、視覚的に理解が深められるようにする。
古代までの日本	平均正答率は、市の平均と比べて0.4ポイント上回った。 ○渡来人についての問題の正答率は、県の平均を4.9ポイント上回った。 ●古代文明の特色についての問題の正答率が低く、知識をもとに資料と結びつける問題に課題が見られる。	・今後も小テストや単元末テスト等を通して知識の定着を図る。 ・知識をもとに資料と結びつける力を育成するために、今後も複数の資料を比較し、情報を読み取る活動を授業の中で意識的に取り入れていく。
中世の日本	平均正答率は、市の平均と比べて0.1ポイント上回った。 ○武士の支配の広まりについての問題や、古代までの日本と中国の様子を比較する問題の正答率が高かった。 ●資料をもとに考察し、説明する問題では、無回答の割合が他の問題に比べて高かった。	・ビデオ教材や史料など視覚教材を効果的に使用しながら授業を行った成果が、社会的な思考・判断・表現の領域の力の育成につながったと考えられる。 ・考えたことを自分の言葉で書く力を育成することが課題である。授業の中で、本時の学習課題に対するまとめを書く活動や、分かったことを説明する活動を強化していきたい。

宇都宮市立陽西中学校 第2学年【数学】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と式	65.1	68.4	66.8
	図形	59.0	57.8	56.5
	関数	39.6	40.1	38.5
	資料の活用	48.4	46.3	43.8
観点	数学への関心・意欲・態度	35.5	36.4	34.1
	数学的な見方や考え方	41.2	42.5	40.5
	数学的な技能	58.4	59.6	57.9
	数量や図形などについての知識・理解	56.6	56.0	54.3



★指導の工夫と改善

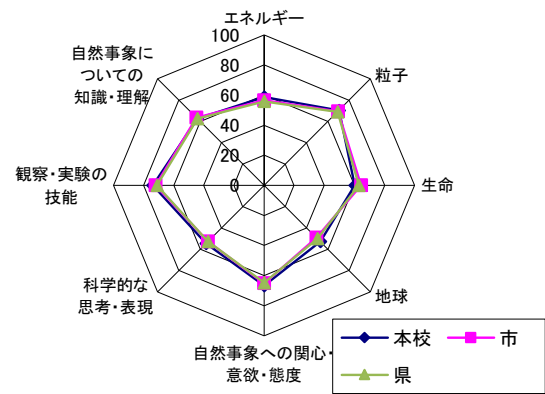
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	○移項を必要としない1次方程式を解く問題の正答率は、県の正答率を3.8ポイント上回った。 ●同類項をまとめる問題では、県の正答率を10.8ポイント下回った。	・計算力の向上のため、既習事項を確認するための復習の時間を確保しつつ、文字を使うことの意義や代入の仕方についても細かく指導していく。また、陽西タイムを利用して計算練習や既習事項の復習を行っているので、小テストを定期的実施することにより、計算力の向上を図っていききたい。
図形	この分野の正答率は県の正答率を2.5ポイント、市の正答率を1.2ポイント上回った。 ○おうぎ形の面積を求める問題の正答率は、県の正答率を9.0ポイント上回った。 ●垂直二等分線を作図し、三角形の面積を2等分する直線の作図の問題の正答率は、県の正答率を5.1ポイント下回った。	・この分野では全体的に市の平均を上回ることができた。今後は応用問題などにも積極的に取り組み、全体的なレベルアップを図りつつ、既習事項の確認を丁寧に行うことで、底上げも図っていききたい。また、2年生の後半には図形の性質や関係性を証明する問題が出てくる。そこに向けてICTなどを活用し、図形に関する感覚もさらに磨きをかけていきたい。
関数	○反比例のグラフと式の関係についての理解を問う問題では、県の正答率を6.5ポイント上回った。また、比例の式から、比例のグラフを書く問題では、県の正答率を5.1ポイント上回った。 ●関数についての理解を問う問題では、県の正答率を3.3ポイント下回った。	・表、式、グラフなどの基本的な事項についての理解は県の平均を上回るものが多かった。一方で、数学的に説明する問題や与えられた式から情報を読み取るような問題の正答率は不十分であった。今後は、基礎・基本の定着をより確実なものにし、それを活用して情報を読み取る問題に多く触れることで、実力アップを図っていききたい。
資料の活用	この分野の正答率は県の正答率を4.6ポイント、市の正答率を2.1ポイント上回った。 ○階級の幅についての問題では県の正答率を11.1ポイント上回った。 ●度数折れ線の特徴を読み取り、説明すべき事柄について数学的に説明する問題では、県の正答率を1.0ポイント下回った。	・この分野では全体的に市の平均を上回ることができた。この分野の基礎・基本についても満足のいく状況である。今後は、既習事項を確認することで底上げを図るとともに、データを読み取り活用する問題に取り組むことで、応用的な問題にも慣れていけるように指導していききたい。

宇都宮市立陽西中学校 第2学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	エネルギー	58.7	56.6	55.8
	粒子	70.3	69.6	69.0
	生命	60.3	64.4	63.0
	地球	52.7	49.2	50.2
観点	自然事象への関心・意欲・態度	66.6	65.2	64.7
	科学的な思考・表現	54.4	52.8	52.8
	観察・実験の技能	73.9	72.0	71.2
	自然事象についての知識・理解	62.7	63.7	62.7



★指導の工夫と改善

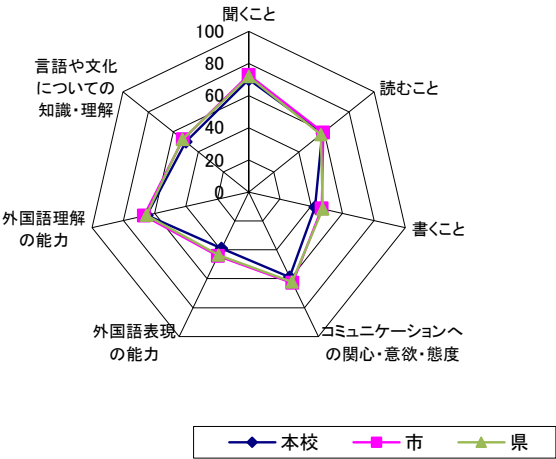
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
エネルギー	平均正答率は、市を2.1ポイント、県を2.9ポイント上回った。 ○おもりがばねを引く力を矢印で表す問題では、県を21.3ポイント上回る正答率であった。 ●圧力の大きさの求め方について間違いを指摘する問題では、県を3.8ポイント下回り、計算問題に課題が見られる。	・今後も視覚的に理解できる現象は図示することで、目に見えないものを可視化して理解する力を育てるようにする。このことは、2年生の電気分野や3年生の仕事の分野でも役立つことが期待できる。 ・計算問題では、公式が分かっても使い方や計算の仕方に課題が見られるので、問題演習をとり入れる授業展開にしていきたい。
粒子	平均正答率は、市を0.7ポイント、県を1.3ポイント上回った。 ○発生した気体を集めるとき、1本目の試験管には空気が多く含まれていることを指摘する問題では、県を12.1ポイント上回る正答率であった。 ●グラフを読みとって、析出した結晶の質量を求める問題では、県を6.5ポイント下回り、グラフの読み取り及び計算問題に課題が見られる。	・グラフの読みとりでは、グラフの縦軸と横軸に注目させたり、グラフの特徴から分かることを考えさせたりすることで、その問いに必要な数値を見つけたす力を育てたい。 ・2年生の「化学変化と質量」の単元でもグラフを読み取る場面があるので、1年生の学習の復習をとり入れながら、つながりを大切にしたい指導を行う。
生命	平均正答率は、市を4.1ポイント、県を2.7ポイント下回った。 ○コケ植物とシダ植物を分類する問題では、県を3.4ポイント上回る正答率であった。 ●ルーペの正しい使い方を問う問題では、県を9.3ポイント下回り、操作に課題が見られる。	・授業で実験を行い印象が強く残っているものや、くり返し扱った実験器具の使い方は身に付いているので、今後も実験器具の使い方を丁寧に説明して、器具を正確に使いこなせる知識を育てたうえで、実践的な場の設定を行い、技能を身に付けたい。
地球	平均正答率は、市を3.5ポイント、県を2.5ポイント上回った。 ○凝灰岩の層があることから火山の噴火があったことを考える問題では、県を19.4ポイント上回る正答率であった。 ●岩石の特徴から岩石の種類を同定する問題では、県を5.3ポイント下回り、知識理解に課題が見られる。	・岩石に関する基本的な知識はあるが、岩石のイラストから、岩石を同定するといった、知識の活用が難しい。鹿沼土や大谷石など、身近にあるものを生徒の手に取らせることで、自分が住んでいる場所や地域の成り立ちなど、地質に関する事象への関心を高め、知識を活用する場を設定していきたい。

宇都宮市立陽西中学校 第2学年【英語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	聞くこと	70.1	72.8	71.8
	読むこと	58.6	59.4	57.5
	書くこと	42.4	46.6	47.3
観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	58.9	63.0	62.2
	外国語表現の能力	39.0	44.2	43.6
	外国語理解の能力	65.1	66.8	65.4
	言語や文化についての知識・理解	50.1	52.3	52.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	平均正答率は市の平均よりも2.7ポイント下回っている。 ○対話の内容を聞き取り、適切な応答をする問題では、市の平均を7ポイント上回っている。 ●まとまりのある英文を聞いた後で、イラストをもとに英語で答える問題では、市の平均を8.8ポイント下回っている。	・まとまった英文を聞き取り、内容を的確に把握する力をつけるため、単元末テストや定期テストの対策時のみでなく、普段の授業においても、まとまった英文を聞き取る練習を取り入れる。教師、ALT、CDなど様々な音声の英語に慣れることができるよう、音声のインプットを多くしていく。
読むこと	平均正答率は市の平均よりも0.8ポイント下回っている。 ○対話の流れとポスターから、適切な語の組み合わせを選ぶ問題では、市の平均を5.1ポイント上回っている。 ●語形と語法の問題では、市の平均をやや下回っている。	・英文を読むための基礎となる単語力を向上させるため、帯学習などを工夫して、スパイラルな学習となるようにする。 ・様々な種類の英文を読解する力をつけるため、教科書の本文以外にもまとまった英文に触れる機会を設けるようにする。 ・要点をおさえながら効率よく英文を読むことができるようにするため、時間を計って長文読解をするなどの工夫を取り入れる。
書くこと	平均正答率は市の平均よりも4.2ポイント下回っている。 ○一般動詞の過去形の疑問文を正しい語順で答える問題では、市の平均を3.9ポイント上回っている。 ●テーマに対して3文以上の英文で答える問題では、市の平均を下回っている。	・場面に応じて英文を作ることができるようにするため、言語材料の導入時や活用時の場面設定を明確にし、自己表現活動を意図的に取入れていく。1文だけでなく、まとまった量の英文を書く力を身につけられるよう、生徒が興味をもって取り組めるテーマに沿ってスキットを作ったり、英作文をしたりする活動を取り入れていく。

宇都宮市立陽西中学校 第2学年 生徒質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「自分はクラスの人の役にたっている」と回答した生徒の割合は68.6%で、市の平均よりも4.4ポイント、県の平均よりも8.5ポイント高く、クラスでの自分の役割や存在価値の自己評価が高い。今後も生徒が自分の特性を理解し、また生徒同士もお互いの良さなどを認め合える環境をさらにつくっていききたい。

○「自分には、よいところがあると思う」と回答した生徒の割合は77.9%で、市の平均よりも2.1ポイント、県の平均よりも4.9ポイント高い。これは自分の良さを知り、自己肯定感が高いことを表している。今後も一人ひとりが自分らしく生活し、個性を大切にできる心を育てていききたい。

○「次の教科などの学習は好きですか。」という問いに対して、社会、数学、理科、音楽、保健体育、技術・家庭、英語の教科において好きと答えた割合が市・県の平均よりも上回っている。また「次の教科の授業の内容はよく分かりますか。」の問いに対して、社会、数学、理科の教科において、市・県の平均よりも上回っている。今後も教師の公開授業と授業研修会を通し授業力の向上を図るとともに、生徒の学ぶ意欲を高める魅力ある授業の実践に取り組んでいきたい。そして全教科において、「好きで理解できる」という肯定回答になるようにしていきたい。

○「分からない国名や地名があったら、インターネットや地図帳を使って調べている」と回答した割合は70.1%で、市の平均よりも0.5ポイント、県の平均よりも3.8ポイント高い。また「歴史上の人物やできごとを扱っているテレビを見たり本を読んだりするのは好き」と回答した生徒の割合は70.6%で、市の平均よりも4.4ポイント、県の平均よりも9.7ポイント高い。これは社会分野に興味関心が高いことを示している。今後もさらに地理や歴史を学ぶ意欲が出るようにさまざまなきっかけを作っていききたい。

●「家で、学校や塾の決められた宿題のほかに自分で考えた勉強をしている」と答えた割合や「家で、テストで間違えた問題について勉強している」と答えた割合は市や県の平均を上回っているが、「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と答えた割合は60.8%で市よりも7.9ポイント、県よりも5.2ポイント下回っている。家庭学習に対する意欲に差があるため、自主学習ノートのさらなる活用など家庭学習の習慣化を今後も進めていきたい。

●「学校の宿題はやりたくない内容だ」という肯定的回答が、市平均よりも6.6ポイント、県平均よりも6.3ポイント下回ったことから、家庭学習の必要性を理解させつつも、生徒の学習意欲を刺激するものや興味を抱く内容を取り入れるなどの工夫をしていきたい。

学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
学習意欲を高め、学力向上を目指した指導の充実	今年度も、基礎学力の定着を図るため、帰りの会終了後の10分間、「陽西タイム」としドリル学習を実施している。 「学力向上の日」となる水曜日の放課後には、「レベルアップ学習」として1時間程度、希望者に対して「学習する場」の提供も継続している。 夏季休業中にも7日間の「学習サポート」を実施し、1教科で複数コースの設定をするなど生徒の学力に配慮し全校体制で指導に当たった。 また、希望者を対象に、地域協議会と学校の共催で月に1～2回「土曜学習サポート」を実施している。 全職員共通理解のもと、共通課題に則した公開授業の実施や職員研修の充実を図り、教員一人一人が日々、授業力の向上に努めている。	「授業を集中して受けている」の質問には94.4%の生徒が肯定的に回答し、県の平均を3ポイント近く上回っている。「勉強していて、おもしろい、楽しいと思うことがある」には8割以上の肯定的回答があり、県の平均を5ポイント以上上回っている。また、「グループなどでの話し合いに自分から進んで参加している」にも9割近くの肯定的回答があり、県の平均を8ポイント以上上回るなど、意欲を持って授業に取り組む姿が見られる。 「授業で分からないことがあると、先生に聞くことができる」には、8割近くの生徒が肯定的に回答し、県の平均を5ポイント近く上回っており、「先生は学習のことについてほめてくれる」には85.6%の生徒が肯定的な回答であり、県の平均を9ポイント近く上回っている。「できた」という成功体験の積み重ねや、自己肯定感を高める指導の充実が学習意欲や学力の向上につながったと考えられる。 「授業で扱うノートには学習の目標とまとめを書いている」の質問に肯定的に回答した生徒の割合は9割近くあり、県の平均を10ポイント以上上回っている。日々の授業での「本時のねらい」と「本時のまとめ」の徹底が生徒にも浸透してきている。 「授業の最後に、学習したことを振り返る活動をよく行っている。」の質問には、約7割の肯定的回答があったが、県の平均を3ポイント下回った。日々の授業での振り返りのさせ方が課題となっている。
家庭学習の習慣化に向けた指導の工夫	陽西地域学校園(小中共通)で作成した『家庭学習の手引き』に沿って、年度初めに資料を全生徒に配付し、家庭学習の仕方・自主学習ノートの取組について再度徹底を図った。自主学習ノートを毎日提出させ、その後の指導に生かしている。	「家で、学校や塾の決められた宿題のほかに自分で考えた勉強をしている」の質問に肯定的な回答をした生徒の割合は7割近くあり、県の平均を9ポイント以上上回っている。「家で、テストでまちがえた問題について勉強をしている」と答えた生徒も7割以上あり、県の平均を7ポイント近く上回っている。小中共通で資料を作り、家庭学習の習慣化に努めた成果が徐々に表れている。